

会議録（要旨）

会議名称	第20回阿南市子ども・子育て会議
開催日時	令和6年11月11日（月） 15時00分～16時05分
開催場所	阿南市役所 6階603・604会議室
出席委員 （敬称略）	山口 亜弓、川上 志穂、犬伏 友美、古里 健一、折原 彰子、 明石 あゆみ、木内 啓嗣、上手 永子、金久 博、幸田 初美、 片山 美幸、小西 嘉代子、佐々木 晃
会議内容	<p>【開会】</p> <p>【議題】</p> <p>（1）第3期阿南市子ども・子育て支援事業計画素案について</p> <p><u>委員の意見等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の家庭の子ども子育てにおいて、言語や文化など意思疎通や困難なことを相談ができたり、あるいは翻訳機能のあるタブレットなどを使って、これを見ると保育所の利用の申し込みや相談先を理解できたりするなどの施策をこの機会に入れることはできないのだろうか。 ・子どもの居場所づくりについて、公園の整備状況を教えてほしい。また、雨天時の子どもたちが集まれる場所の工夫等があれば教えてほしい。 ・「学校、家庭、地域教育の実施」について、多様な体験活動を実施する中で、例えば経営の疑似体験を民間と協働で実施したり、補助したりする事業を計画してほしい。長期的なスパンで民間と関わりをもって、子どもたちが地元の民間企業を知ることや、地元根付いていくという取組を検討してほしい。 ・「こどもまんなか公園づくり支援事業」の活用を検討するとあるが、素晴らしい事業だと感じたため、活用を検討するのではなく、活用して進めるような形の力強い文言をお願いしたい。 ・公園の整備に加えて、図書館の整備について、もう少し子ども連れで本に親しむことができるようにしてほしい。 ・在宅の6割の方への支援が足りていないと感じているが、0歳児から就園している家庭の中にも夫婦共稼ぎでないと生活が維持できないという方もいると思う。そのため、すべての子どもというところで、同じような形の何らかの施策は必要だと思う。 ・親子関係の愛着形成を考えた時には、例えば0歳児から親子が1対1で対応していくことが大事だと思う。そのあたりの支援についても、検討という表記でも問題ないため、ぜひ文言として入れていただければと思う。 ・3歳まで子どもとずっと生活してきて、預ける先があればいいと思うときもあった。働いているという証明がなくても、気軽に見てもらえるようなところがあると助かると思う。 ・国が育児休業の取得、特に男性の育児休業の取得について高い目標を掲げ取らせようと進めている中で、子どもの預かりについて、子どもをみる人がいる家庭は預けにくいと聞いたことがあるが、市の方でも今までと違う施策が

	<p>あれば教えてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none">・「こども家庭センター」が設置されると書いてあるが、地域子育て支援をしている「おひさまひろば（子育て家庭センター）」と名前がよく似ているが、このセンターについて説明してほしい。通称で機能の性質分けするとわかると思うので、アイデアを出して、市民にわかりやすく利用しやすくなるような形をお願いしたい。 <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none">○「阿南市教育保育施設整備実施計画の策定」について 委員の意見等 質疑なし○その他 委員の意見等<ul style="list-style-type: none">・高校生の18歳未満の人に何か支援できるようなことがあればいただきたい。 <p>【閉会】</p>
--	---